



りんご箱

ケアセンター成瀬住民の会だより 第91号

2011年（平成23年）6月 発行：住民の会広報委員会 電話：729-0617 発行責任者 塚本 誠子

新年度を迎えて

住民の会 会長 塚本誠子

新年度を迎えるための準備に入って間もなく、国難と言えるほどの東日本大震災が起こりました。

時が経つにつれ、被害の大きさは人ごとではないという思いで、日本人ばかりでなく世界中の人々が心を痛め、応援してくれるようになりました。

この日本の国土に54基もの原子力発電所があり、中の構造も余り公開されなかつたとはいえ、日本の経済の発展が、このような危険なものの上にあつた事を、改めてみんなが知りました。義援金を大地震や大津波、また放射能のために被害に遭われた方々に少しでも早く届けてと願うばかりです。ケアセンター成瀬を立ち上げた住民の会の私たちもこの大災害を機にいろいろと考えて行かなければと思

いました。ことにこれからのセンターの大改修に際して、利用

者の方をはじめ、この地域にお住まいの高齢者や身体の不自由な方々のために、創和会やNPOアップルサービスは、どのように対処して行くのかを今こそ共に考える時ではないかと思

ます。住民の会が今後、地域に根ざした活動を進めて行くためにも、しっかりとお互いに話し合いを深めることが大切だとつくづく感じさせられました。

地域の人のつながりや心の通い合いのためには、新しくできた創和会直営のシニアカフェ「花みずき」を大いに利用してコミュニティの場として行けたらと考えています。ボランティアの心を何よりの宝として、住民の会の活動を楽しく生き生きと進めていきたいと思います。

広報「りんご箱」は会の情報や会員の声を中心に皆様にお届けしています。た

だ、最近家族の介護や健康などの事情で、編集者が手薄になってきました。発行回数は少なくなりますが、新しいメンバーを加えて続けていきますので応援をお願いいたします。

震災義援金について

「東日本大震災」被災地に義援金を送る件に關しまして先日の総会に提案いたしました。その結果、皆さまの貴重な会費から義援金を送ることに賛成していただくことができました。

役員会で「10万円」を日本赤十字社へ送ることが決まり、6月13日に町田市役所に届けました。

なお、総会当日に義援金箱に入れていただいた1万2000円は、住民の会事務局に引き続き置かれた義援金箱の中身と共に後日改めてまとめて送金することにいたします。どうぞ、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

目次

* 新年度を迎えて 震災義援金について	… P 1
* 平成23年度住民の会 総会議事録	… P 2
* 住民の会は今！	… P 3
* シリーズ介護技術講座 第二十回 「認知症のかかわり方」 (その二・後半)	… P 4 P 5
* 創和会通信 施設内の看護師の役割	… P 6
* NPOアップルサービ ス通常総会報告	… P 7
* 東日本大震災の被災地を 訪問して	… P 7
* ダンケムジークの会 第46回コンサート ご案内	… P 8
* その他 お知らせ	… P 8
* 編集室便り	… P 8



平成23年度住民の会通常総会報告

4月24日(日)午前10時から、ケアセンター成瀬地下ホールにて、平成23年度住民の会通常総会が開催された。出席者36名、司会は永井まちさんと東日本大震災の被災者の皆様に対して黙祷後開会した。

塚本誠子会長挨拶の後、来賓の創和会西嶋公子理事長の挨拶。
「ケアセンター成瀬の職員数名と施設長と共に石巻市に応援に行きました。保健師とペアになり、在宅されている人達の健康調査でしたが、現地はニュースで見ると以上に大変な状況でした。」

NPOアップルサービス 原厚平理事長の代理で高綱美智子さん挨拶。

議長に岩崎寿美男、永尾陽子の両氏、書記に山内正

清、小川裕子の両氏を選出し、議事審議に入った。(内容については議案書を参照)

第1号議案

平成22年度活動報告

小竹事務局長より全般の活動報告と各委員会、ボランティアグループの報告

第2号議案

平成22年度会計報告

大竹重昭会計が決算書に基づき会計報告

第3号議案

平成22年度会計監査報告

中村靖監事より、高綱美智子さんと共に監査の結果、適正に処理されていた旨報告

第1号議案から第3号議案まで拍手で承認。

第4号議案

平成23年度活動方針(案)

小林一朋副会長より提案を説明
拍手をもって承認

第5号議案

平成23年度予算(案)

大竹重昭会計より説明。会議費、委員会活動費の内訳の見直し予算化

質問…永尾氏より、ボランティア活動費についてボランティア券単価が下がったにもかかわらず、予算増はなぜ?

回答…前年度の未消化分が繰り越されているため。

拍手をもって承認

その他の質問
永尾氏より、「りんご箱第90号」編集後記中の内容について質問

回答…記者の個人的感想

特別議案として、東日本大震災に対して、住民の会から寄付をしたい。その金額及び届け先については役員会に一任することに拍手にて承認

ここで(案)の文字が削除され、議長、書記解任後、閉会 (書記・小川)



平成23年度役員名

会長	塚本誠子
副会長	小林一朋
事務局長	永尾陽子
会計	小竹金次
監事	大竹重昭
創和会理事長	野中節子
NPOアップルサービスマン	中村靖
理事長	高綱美智子
地域ケア委員長	西嶋公子
研修委員長	原厚平
広報委員長	小林一朋
行事委員長	小竹金次
ボランティアグループ代表	未定
	佐藤康夫
	永井まち

活動報告

- 役員会
 - ・5/24 定例役員会
 - 総会決定に基づく東日本大震災義援金について
- 事務局
 - ・5/2 連絡会
 - ・6/6 連絡会
- NPOアップルサービスマン
 - ・6/18 運営委員会
- 行事委員会
 - ・4/24
- 総会後、定例会
- 広報委員会
 - ・5/17 編集会議、31原稿〆切、6/8 校正、17印刷
- ボランティアグループ
 - ダンケムジークの会
 - ・5/6 運営委員会
 - ・6/10 運営委員会

住民の会は今！

広報委員長 武末 孝

平成22年度は「ケアセンター成瀬住民の会」の発足15周年ということだったが、特筆するようなこともなく新年度を迎えた。

この1年間で住民の会に大きな影響を与えたのが創和会「ケアセンター成瀬の、シヨートステイ事業から小規模養護老人ホームへの業態転換だ。

これにより、ケアセンター成瀬内の住民の会事務局は今までのスペースを明け渡し、「シニアカフェ花みずき」の一隅に移動して業務を再開している。

「シニアカフェ花みずき」は旧「ティールーム暖」が名前を変えて、創和会直営になった喫茶店であり、4月11日から営業を開始している。利用のあり方は既報の通り、多少の制約はあるが、皆様の利用をお待ちしています。(写真参照)
15年の歳月を経た住民

の会は会員の平均年齢の高齢化が進んで

いる。特に会を支えている人々の大部分は、発足の当初から引き続いて活動している人々である。自身の高齢化にとどまらず、その家族の高齢化という事情により充分な活動が困難になる傾向が高まる一方である。

同じことは広報活動に携わるメンバーにも及んできており、住民の会だより「りんご箱」の発行に少なからず支障が出るようになった。何事によらず、長い年月を同じ環境で仕事を続けることは好ましいことではない。現在の委員の多くは長年にわたって「りんご箱」編集に携わってきた。その経験は貴重であるが一方でマンネリ化している観も呈しているように思う。

16年目を迎えて、新しいメンバーによる新しい「りんご箱」を会員の皆様にお届けできるように、体制の刷新を考えている。

総会で提示された資料などで気がついていての方々も多いと思うが、当会の会員数は減少の一途を辿っている。発足当初からの会員が圧倒的な多数を占めている構成から、年齢の関係で死亡・転居などの事由による退会を余儀なくされるのはやむを得ないことである。

それを補う新しい会員が増加することなく10年を経過してきた結果が現状をもたらしたと言えるだろう。会の基盤となるのが会員数であることを考えると、新規加入者の確保こそが当会の活動の維持・発展につながる。その一端を担うのが広報紙の役割でもあると思う。

広報委員会に新しい風を呼び込んで、会員相互間の交流の活発化を促し、それを通じて地域住民に当会の存在をアピールする、それが16年目を迎えたケアセンター成瀬住民の会の最重要課題ではなかるうか。



シニアカフェ『花みずき』の窓際に百合が咲きました

新しくなったカフェ
新しくなった事務局
どうぞ、よろしく



新しくなった、住民の会事務局です



ごゆっくり、お茶をどうぞ



これが、優れもの！お飲み物は何でも揃います

シリーズ介護技術講座

第二十回 認知症のかかわり方 (その二 後半)

昨年8月20日に行なわれた施設内研修の「認知症のかかわり方について」(その二)の後半を紹介します。

- (二) 認知症介護の具体的対応法について
- (三) 困った体験とその解決策について

接し方の原則

認知症の方の症状や行動は大きく二つの特性に分けられる。

- ① 事実の誤り (現実の取り違え)

【対応】

- ・ 否定しない(逆らわない)
- ・ 話題、場面をかえ関心をそらせる
- ・ 認知症の方の認識に合わせる

② 失敗行動

(失禁、不潔行為、徘徊など)

【対応】

- ・ 叱らない、説得しない

- ・ 失敗しないような状況をつくる
- ・ 行動の動機や背景を考えるとそれを満たす(自尊心を尊重する。子どものように扱わない)

【具体的事例】

- (1) 物盗られ妄想(財布や通帳が盗まれたという場合)

【基本的対応】

- ・ 自分が疑われたとしても「自分は盗っていない」などと言いつ返ししたりして興奮しない
- ・ 自分の気持ちを落ち着かせて、なくした本人が困っているのだと受け止める
- ・ お茶を飲ませたりして、関心をそらせる
- ・ 一緒に探すことを提案し、行動を起こす
- ・ 探してもないことがわかっていないものや、毎回時

間をかけることが大変な場合は、別の代替品を用意し、渡して納得させる

【繰り返しされる場合の対応】

- ・ 財布などは最低限の小銭を認知症の方に渡し、あとは家族に預ける
- ・ 入れる場所を決めておく
- ・ よく隠す場所の見当をつける

【禁句】

- ・ 冗談じゃないわ。私が盗るわけじゃないでしょ
- ・ どこかにしまい忘れたんじゃないの?
- ・ ちゃんと探したの?
- ・ 自分で隠したんじゃないの?

- (2) 幻覚 (存在しないものが見えたり、聞こえたりする)

【その場で対応】

- ・ 訴えを受け止める(否定しない)
- ・ 話のつじつまを合わせる
- ・ 嫌がっているものが見えるようなら、追い払ったり、片付ける格好する
- 【収まってから(普段から)】

【対応】

- ・ 照明の工夫によって、部屋を明るくする
- ・ 幻覚を誘発しているもの(壁のしみなど)があれば取り除いておく
- ・ 視力、聴力の障害があれば調整しておく

【禁句】

- ・ そんなもの見える(聞こえる)わけじゃないでしょ

- (3) 不眠 昼と夜の取り違え(夜眠れない、昼と夜を取り違え、騒ぐ)

【具体的対応】

- ・ まず夜であることを話し眠るように促す
- ・ 入浴させてから寝かせる
- ・ 快適な寝具(暖かくて軽い)を用意する
- ・ 興奮させるようなテレビを見せない
- ・ 隣で一緒に寝る
- ・ 軽食や温かい飲み物をとらせる

【予防的対応】

- ・ 寝る前に布団の上で軽いマッサージなどを行う
- ・ まず日中を活動的にする

・ 会話を心がける

- ・ 散歩をすすめる
- ・ 軽い作業(家事、庭仕事、ペットの世話など)をしてもらう
- ・ デイケアを利用してもらう

- (4) 食べたことを忘れる (食事をしたのに「食べていない」という)

【原因】

- ・ 満腹中枢が侵される
- ・ 欲求不満を食べることで満たす

【具体的対応】

- ・ 次に食べられる時刻を示す
- ・ 食事の支度中であること話す
- ・ 軽いおやつなどを少しずつ渡してみる

【禁句】

- ・ 今食べたばかりでしょ

- (5) 徘徊 (道に迷う、あてもなく歩きまわる)

認知症の方にはそれなりの理由がある。徘徊の原因や欲求を冷静に考える

【具体的対応】

- ・声をかけ、他のことに関心を向け、外出を思いとどめる
- ・お茶やお菓子など、認知症の方の好みのもので誘ってみる
- ・しばらくしたら一緒に出かけてみる
- ・玄関に外出を思いとどめるような文面の張り紙をする
- ・やむを得ない場合は、広い空間を確保して鍵をかける

禁句

- ・出ちゃだめ！
- ・早く家に入って！

(6) 失禁

- 汚した下着の上から新しい下着をはき、汚した下着を脱がない場合

【具体的対応】

- ・気持ち悪い傷つけないように脱がせる(例えば、汗をかいたので着替えましょうと声をかける)
- ・入浴時には必ず脱いだ下着をすぐ片付けておき、

新しいものに着替える

- ・排尿パターンを把握し、タイミングよく誘導する

(7) 不潔行為 (オムツを外す、便をいじる)

【原因】

- ・排泄物がそのままになっている
- ・むれる
- ・オムツが窮屈である
- ・肛門に出かかっている便をいじる

【具体的対応】

- ・排尿、排便をキャッチして、すぐにオムツを替える
- ・便が出そうで出ない場合浣腸などで出すか、常日頃から排便コントロールしておく
- ・快適なオムツを使用する
- ・早めに見つけて手を洗う
- ・爪をこまめに切る

禁句

- 汚い、どうしてこんなことをするの！

(8) 夕方症候群 (夕暮れ症候群)

候群)

- 夕方ごろに決まって落ちて着かなくなり、「家に帰ります」と言いつて帰り支度をして出て行くとする。

【具体的対応】

- ・「家に帰りたい」と言ったら「そうですね」と受け止める
- ・それから「夕ご飯を食べていってください」「今日泊まっていってください」といいう
- ・気持ち別のことに引き付けたり、一緒に外に出て満足させるようにする

禁句

- 何いつてるの、ここが家でしょ。一人でどこへ帰るつもり

(9) 異物を食べる(あるものを何でも食べてしまう)

- 例：雑草、花、乾燥剤、防虫剤、調理していない生のもの、腐ったもの、線香、石鹼、洗剤、スポンジ、紙、タバコ、ビー玉、おはじき、化粧水、便など

【原因】

- ・食べ物と区別がつかない
- ・満腹中枢が侵されている
- ・味覚の低下

【具体的対応】

- ・口にして危険なものを、目に付く所に置かない
- ・ゴミ箱はフタをしておく
- ・長持ちするあめ玉や軽いおやつを渡しておく

グループで困った体験とその解決策

- ①急に怒ったり泣いたりされた
- ②「自分の家がわからなくなった」と、時間をずらして二回も言われた
- ③「自分も言われた

解決策

- ①まず謝る。じつと側において、少しずつ話を聴く。信頼関係を作っていく
- ②「自分の家がわからなくなった」と、時間をずらして二回も言われた
- ③「自分も言われた

解決策

- ①「急に怒ったり泣いたりされた」
- ②「自分の家がわからなくなった」と、時間をずらして二回も言われた
- ③「自分も言われた

解決策

- ①「急に怒ったり泣いたりされた」
- ②「自分の家がわからなくなった」と、時間をずらして二回も言われた
- ③「自分も言われた

解決策

- ④「またトイレの場所がわからなくなった」と何度もいわれた
- ⑤「一緒にしましょ」と、何度でも一緒に行けた
- ⑥「またトイレの場所がわからなくなった」と何度もいわれた

まとめ

- とにかく、認知症の特性、症状を理解すること
- (文責・山岸)

創和会通信 施設内の看護師の役割

看護グループ主任 与那覇紀子

ケアセンター成瀬の中で
の看護師の仕事は、デイサ
ービスとショートステイの
ご利用者の健康管理のため
の、①バイタルサインを見
ること、②薬の管理、③入
浴の管理、④医療処置の対
応、⑤機

配置です。看護師間では連
携を密にとり、利用者の情
報を共有しながらチームケ
アをしています。
高齢の方はお元氣そうに
見えても、過去に病気をさ
れている方が多く、再発の

リスクを抱えています。利
用されている方で多い病気
は、脳血管障害、心疾患、
パーキンソン病などの難病
糖尿病などです。病気の症
状としては片麻痺、筋力低
下、嚥下障害、言語障害、
浮腫、頻脈など加齢の変化
による症状も加わり多数の
症状が出現します。

感 染 予 防、
⑦各部署
との連携
などが主
な内容で
す。
現在、

は初回訪問の方には既往歴
を詳しく聞き取ります。薬
を飲んでいる方には薬の説
明書もコピーさせていた
ています。検査データも
参考になります。

これらの情報を基にして、
利用者の日々の健康管理に
努めています。在宅で人生
の最晩年を豊かに過ごして
いただくために、看護グル
ープは利用者ごと家族から
信頼され、いつでも相談に

のれる人材でありたいと思
っています。

最後になります。私が
企画実施をして、4年間続
けてきました施設内研修は、
一定の成果があったという
ことで、今年度から法人全
体として取り組んでいくこ
とになりました。今まで広
報原稿を編集し、りんご箱
に掲載し続けて下さった山
岸さんをはじめ、関係各位
の方にこの場を借りて御礼
を申し上げます。



NPPOアップルサービス 平成23年度役員名

- | | |
|----|-------|
| 理事 | 原 厚平 |
| 理事 | 島峯紀子 |
| 理事 | 高綱美智子 |
| 理事 | 太田公子 |
| 理事 | 佐藤康夫 |
| 理事 | 小竹金次 |
| 理事 | 矢沢俊美 |
| 理事 | 山田敏子 |
| 理事 | 井上由子 |
| 監事 | 丸岡将泰 |
| 監事 | 村山恵美 |

NPPOアップルサービス通常総会報告 ホームヘルプ担当理事 井上由子

5月22日、ケアセンター
成瀬地下ホールで、NPPO
アップルサービスの通常総
会が開催されました。

開会の言葉の後、高綱理
事長代理より「現在のショ
ートステイを廃止し、ミニ
特養を開設する為の準備を
します」と挨拶があり、続
いて来賓の住民の会塚本会
長より「事務局、NPPO事
務所は縮小化となりました
が従来通りの活動を行いま
す」と挨拶がありました。

又、創和会川尻施設長よ
り「NPPOアップルサービ
スの日常活動の協力に感謝
します。来年3月1日開所
予定のミニ特養に伴い給食
部門の連携を進めていきま
す」との挨拶を頂きました。

総会の審議では平成22
年度の活動総括が各事業部
から報告され、食事サービ
ス事業部高綱理事より「レ
ストラン、ティールーム暖
の営業は終了し、引き続き
閉会しました。

4月から創和会直営のシニ
アカフェ花みずきが開店し
ています」と報告されまし
た。

更に審議が進み平成23
年度の活動計画が報告され、
ホームヘルプ事業部から
「在宅高齢者の自立支援サ
ービスの依頼が多岐にわた
っているので、従事者が一
丸となり頑張ります」と決
意しました。

最後に小峯伸一理事と中
村靖監事の辞退を受理しま
した。年2回の監査時には、
部門ごとの調整など、長き
にわたり激務を遂行され、
感謝申し上げます。

以上、各議案は予算案を
含め、全件が承認され「今
後も会員の皆さんとNPPO
アップルサービスの全スタ
ッフの協力で諸活動を進め、
安心して住み続けられる地
域づくりを目指していき
たい」との言葉で通常総会は

東日本大震災の被災地を訪問して

施設長 川尻 勝臣

3月11日の大震災で被害を受けた宮城県石巻市で緊急活動を行ってきた。

今回の活動は急であったが3名の男性職員が同行してくれた。4月16日、勤務終了後に出発し、翌17日は朝から活動を行い夕方に終了後、その日の内に帰途につくというややハードな行程だったが、津波の直撃を受けた地区は各種報道で伝えられている通り、街全体が壊滅している状態であり目に余るものがあった。

その時点で震災から一ヶ月を過ぎ、避難所から生活再建の為に自宅に戻り始めた人がおり、そういう方々の生活実態や健康状態を把握することが今回のミッションである。

担当地域の全戸を二人一組で訪問。所定の調査書によるヒアリングを実施して、早急な対応が必要と思われる住民を把握し、市の担当者に今後の支援活動に資す

る情報を届ける活動が中心であった。

公的な避難所には様々な物資や人的支援も行き届きつつあったが、自宅に戻ってきて生活している被災者の状況は全く実態が把握されておらず、適切な医療を受けていない人や残薬が少なくなっている人、温かい食事や野菜類を摂れない人、長期に入浴出来ていない人、津波で1階の天井まで浸水し、かろうじて残った2階で生活を再開しつつある人などに対して、必要な情報というのが実態であった。

回った地区は海岸から4〜600メートル付近や河口近くであったが、土台を残して家自体が無く、多くの車が大破し、水産倉庫から魚介類が流出し強烈な悪臭を放ち、下水道が破壊され非常に劣悪な環境となっていた。



約150戸を回ったが大半の住宅が流されたか残っているも全壊に近い為、配布された住宅地図がほとんど役に立たなかった。それでも何とか目的の家を見つけ出し一軒一軒声をかけて回ったが、在宅していたのは約25戸であった。そこも家の1階は、家具や家電、衣類や生活雑貨が散乱して、手のつけようがない状態。復興には年単位が必要と思われた。

ライフラインも少しずつ復旧していたが、その時点では生活できる環境にはほど遠い状況であった。

石巻市においても、自衛隊の災害支援部隊や全国か

ら行政担当者も相当応援に来て活動していたが、まさしくいくら人がいても足りないといった感じであった。

- ① 下水道の復旧など衛生状態の早期回復
- ② 高齢者や体力の弱った方に対する栄養状態の改善
- ③ 主治医自体が津波に流されて受診不可能であるなどの治療中断患者への対応
- ④ 生活に必要な情報過疎への対応
- ⑤ 避難所の設備環境の改善
- ⑥ 現地はマイカーが必須であるが津波で流された家

が大半であり、高齢者を中心とした移動手段の確保等、早急な対策を必要とする課題ばかりであった。

その中でも自宅の片付けについては、单身世帯や高齢者世帯等にとっては、膨大な瓦礫の山となっている自宅内(特に1階)を片付けて整理するだけでも非常に困難であり、継続的な人的援助が不可欠だと感じられた。

また、現地の行政関係者

等、被災者を支援する立場の人たちは、自らの家庭を犠牲にして日夜懸命に活動しているが、支援者も被災者であり、長期間にわたる使命感だけで頑張れるものではなく、これらの方に対して適度な休養を与えてフォローする体制を作ることにも急務だと思われた。

現在、震災から既に三ヶ月を経過して風化しつつあるようにも感じるが、我々はこの未曾有の出来事を決して忘れることなく、社会福祉法人として今後とも出来る範囲の支援を行ってきたい。



ダンケムジークの会 第46回コンサート “世界をつなぐ音楽の心”

----- また会う日まで -----

ダンケムジークの会メンバー総出演で・・・
ギター、ハープ、ヴィオラ、ピアノ、声楽、琴、
ハーモニカ、弾き語り、コーラス 等々を
たっぷりお楽しみいただきます ♪♪♪

2011年 7月17日 (日) 午後2時～

入場料 700円 (飲み物つき)

場所 ケアセンター成瀬地下ホール

- ※ チケット販売は6/17 (金) より
ケアセンター成瀬住民の会事務局にて
- ※ コンサートの収益はケアセンター成瀬に
寄付されます。

ダンケムジーク第46回コンサートへ

どうぞお越しください ♪ ♪ ♪



きたる7月17日(日)に
ダンケムジーク第46回コ
ンサートが開かれます。
「世界をつなぐ音楽の心」
というタイトルのもと、さ
まざまな国の歌や楽器の演
奏をお届けします。

音楽の持つ力を信じ、皆
で気持ちを合わせて未来を
目指していけるような、そ
んな明るい演奏会にいたし
ましょう。
どうぞ皆さま、お誘いあ
わせの上、ご来場ください。

ケアセンター成瀬改修工事中、コンサートはお休みします。
コンサート再開は平成24年初夏の予定です。

これからの催し物 (予定)

★ダンケムジーク第46回コンサート

7月17日 (日) 午後2時～4時

ケアセンター成瀬地下ホール

★きらく会

6/25、7/9 ゆりの木会館

手話ダンス

6/27、7/4、11 ゆりの木会館

★資源回収 (毎月第4月曜)

6月27日、7月25日



会費納入のお願い

平成23年度会費未納の方は
下記の方法で納入をお願いします

- 1 住民の会事務局窓口
- 2 郵便振込

記号: 00120-7-725131

名義: ケアセンター成瀬住民の会

※ご一報くだされば集金に伺います。

編集室だより

東日本大震災・巨大津波の恐ろしさに加え、心配していた原発の被害の大きさに、居ても立ってもいられない気持ちになった。

以来、新聞記事やテレビの番組は震災関係以外目に入らなくなり、日を追うに従い被災者の心身の辛さが心が痛んで、何をしても気が晴れない。(S・T)

シリーズ介護講座の取材及びまとめの作業を21回に亘り担当できたことは、この「りんご箱」編集者冥利に尽きる。まして、現在92歳の実母と同居、介護の身。「老いるとはこういうことか」と、まとめた過去の文章を何度読み返したとか。挑戦はまだまだ続く。(T・Y)

「チェンジ！」が叫ばれる時流の中、ケアセンター成瀬にも変革のときが訪れ、秋からは大改修工事が始まるうとしている。

そんな折も折、東日本を巨大な地震と津波が襲った。

混乱と悲嘆と喪失感を経て、世の中の様子も人々の思いも大きく変わり始めている。原点に戻り、より良い未来へ向けて舵を切る時が来たようだ。(S・K)

りんご箱の編集に携わって何年経つことだろう。最初は「ああ、そうなのか、そうすればよいのか」という学習と発見の編集だった。それが、近年、老両親の介護の真っ只中の筆者。「そうなのよね、うちもそれと同じ。そんなやり方もあるんだ」という確認と納得の編集になった。特に、介護講座には、何度具体的にお世話になったことか。時間的にだんだん編集に携わるのが困難になってきた。どなたか、協力していただける人はいませんか？広報は面白いです。大勢の人と知り合いになり、人生に深みができます。あなたのお力を貸して下さい。(R・F)

諸事情により、次号は9月以降に発行予定です。ご了承ください。